

## 第1回アンケート調査「生涯学習のあり方」

成長から成熟の時代を迎えた今、生涯にわたって学びたいとの願いが高まっています。現在、多くの県民の皆さんが、知識や教養を深めるため、あるいは、仕事や生活に役立てるため、様々な方法で、様々な場所で「学び」に取り組まれています。

兵庫県では、これまで美術館・博物館などの県立施設や生活創造大学、高齢者大学など様々な場で、幅広い学習機会を提供してきました。また、グループへの活動支援やインターネットによる学習情報の提供などにより、県民の皆さんの学習活動を支援してきました。

時代の変化とともに、学習へのニーズは多様化しています。特にこれからは、団塊世代をはじめとする高齢者人口の増加に伴い、シニア世代の新たな学習環境をどう充実させていくかということが課題になっています。

この調査は、県民の皆さんの学習活動の実態を把握し、生涯学習に関するご意見や県への要望を知ることにより、これからの兵庫県の生涯学習をよりよいものとするためのものです。お寄せいただいたご意見・ご提案等は、具体的な施策展開を検討するなかで参考とさせていただきます。

アンケートは以下の7つのカテゴリーに分かれています。各カテゴリー画面の末尾に「次へ」ボタンと「クリア」ボタンを設けていますので、次のカテゴリーごとに切り替えてご覧ください。

- 1: 第1回アンケート調査「生涯学習のあり方」(当画面)
- 2: (1) 学習活動の状況について
- 3: (2) 学習活動に関する希望について
- 4: (3) 高齢者学習における県の取組について
- 5: (4) 生涯学習全般で県などに期待することについて
- 6: 登録ID及びパスワード入力画面
- 7: 記載内容確認画面

上記7の「記載内容確認画面」で記載済みの内容をご確認の上、末尾の「送信」ボタンを押していただければアンケートが完了します。

### (利用上の注意)

- ・アンケートフォームの開設期間中は、何度でも回答をやり直すことができます。
- ・回答をやり直す際に送信済みの回答結果は再表示されません。全項目に改めて回答いただく必要があります。
- ・開設期間中、最後に送信した回答のみが県に登録されます。
- ・設問の中で別ウインドウ表示される「参考資料」の最下部に、「より良いウェブサイトにするため」のアンケートが表示されますが、このアンケートは、システム上自動的に表示されるもので本県民モニターアンケートとは無関係ですので、特にお答えいただく必要はありません。

[入力を開始する](#)

[このページのトップへ](#)

## (1)学習活動の状況について

県では、一人ひとりが自分の人生を楽しく豊かにするために、生涯のいろいろな時期に、自ら進んで行う学習やスポーツ、文化活動などのさまざまな活動を「生涯学習」と考えています。

このアンケート調査における「学習活動」については、参考資料1をご覧ください。以下の設問にお答えください。[\(参考資料1:学習活動について<別ウインドウで開きます>\)](#)

Q1

あなたはこの1年くらいの間に学習活動をしたことがありますか。1つ選んでください。

- ある [ Q1-2, Q1-3へ ]  
 ない

Q1-2

Q1で「ある」と答えた方にお聞きます。それはどのような分野の学習でしたか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- 趣味的・教養的なもの(音楽、絵画、茶華道、文学、歴史など)  
 社会問題に関すること(国際問題、環境問題など)  
 健康や福祉に関すること(健康法、介護、手話など)  
 スポーツ(水泳、太極拳など)  
 職業上必要な知識・技能(仕事に関係する知識の習得や資格の取得など)  
 日常生活での実用的な知識・技能(パソコンの使い方、料理など)  
 その他(下欄にお書きください)

Q1-3

Q1で「ある」と答えた方にお聞きます。それはどのような方法で学習しましたか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- カルチャーセンターなど民間事業者が開講する講座・教室に参加  
 県や市町など公的機関が開講する講座・教室に参加  
 大学など教育機関が開講する公開講座に参加  
 大学や専門学校への入学(通信制を含む)  
 通信教育の受講  
 NPO・ボランティア団体などの実践団体や同好者のグループに参加  
 個人的に先生(師匠)についた  
 書籍やインターネットなどでの独学  
 その他(下欄にお書きください)

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

## (2)学習活動に関する希望について

---

Q2

あなたにとって、学習する目的とはどのようなものですか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- 知識や教養として身につけたい
- 今後の生きがいやライフワークにしたい
- 仕事や転職・就職に役立たせたい
- 健康や体調管理に役立てたい
- 日常生活に役立てたい
- 同好の人と交流したい
- 他の人に伝えたり、教えたりしたい
- 地域や社会に役立たせたい
- その他(下欄にお書きください)

- 特になし

Q3

あなたはこれからどのような分野の学習がしたいですか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- 趣味的・教養的なもの(音楽、絵画、茶華道、文学、歴史など)
- 社会問題に関すること(国際問題、環境問題など)
- 健康や福祉に関すること(健康法、介護、手話など)
- スポーツ(水泳、太極拳など)
- 職業上必要な知識・技能(仕事に関係する知識の習得や資格の取得など)
- 日常生活での実用的な知識・技能(パソコンの使い方、料理など)
- その他(下欄にお書きください)

- 特に学習したい分野はない

Q4

あなたが学んだ成果を実際に地域や社会の中で生かす機会は何ほどの程度あると思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 豊富にある
- ある程度ある
- あまりない [ Q4-2へ]
- 全くない [ Q4-2へ]
- わからない

Q4-2

Q4で「あまりない」「全くない」と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- そのような機会が身近にないから
- そのような機会があるのかどうかよくわからないから
- まだ十分な学習ができていないから
- 仕事や家庭、健康面の支障があるから
- 特に地域や社会で生かそうと思っていないから
- その他(下欄にお書きください)

Q5

皆さんが多様な学習機会を持てるように、県や市町など公的機関が開講する講座・教室は、民間のカルチャーセンターなどに比べてどのようなことに重点を置くべきだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- 幅広い層にとって関心を持てる内容であること
- その地域の特性や課題に対応した内容であること
- 地域や社会への貢献を目的にした内容であること
- 施設や設備が充実していること
- 交通や開設時間などの利便性が高いこと
- 受講料が安価であること
- その他(下欄にお書きください)

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

### (3)高齢者学習における県の取組について

Q6

県では、高齢者の生きがいづくりの一環として、県内7地域でいなみ野学園をはじめとする高齢者大学([参考資料2:兵庫県の高齢者大学<別ウインドウで開きます>](#))を開設しています。あなたはこれらの高齢者大学を知っていましたか。1つ選んでください。

- 知っていた
- 知らなかった
- 現在通っている(以前通っていた)

Q7

高齢者数の増加に伴い、学習を希望する高齢者が今後増加することが予想されます。[\(参考資料3:兵庫県の高齢者データ<別ウインドウで開きます>\)](#)高齢者大学など、高齢者の学習の場を県や市町などの行政が提供することについて、どのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- ある程度の公費負担があっても、行政が取り組むべきだ【 Q7-2へ】
- 行政は民間との役割分担を踏まえ、必要性の高いものに絞って取り組むべきだ【 Q7-2へ】
- できるかぎり民間に任せるべきだ
- わからない

Q7-2

Q7で「ある程度の公費負担があっても、行政が取り組むべきだ」「行政は民間との役割分担を踏まえ、必要性の高いものに絞って取り組むべきだ」と答えた方にお聞きします。そのように考えられた理由として、次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- 高齢者が学習に取り組むことは、高齢者の生きがいと福祉の向上につながり、公益性が高いから
- 高齢者へ学習機会を提供することは、行政の役割だと思うから
- 地域の実情や課題に即した学習内容が提供できるから
- 修了者が地域活動を行うなどの効果が期待できるから
- その他(下欄にお書きください)

Q8

現在、県をはじめ、様々な主体が高齢者を対象とした学習機会を提供しています。県は今後、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- より専門的で質の高い講座の提供
- 地域活動の人材養成など、公共の利益に結びつく講座の提供
- 趣味や教養が身につく講座の提供(音楽、歴史、文芸など)
- 生活に役立つ実用的な講座の提供(手芸、料理など)
- 高齢者にとって効果的なカリキュラムの研究・開発
- 市町、大学、民間事業者など他の学習提供機関との連携(連携内容の例:講師や会場の相互提供、単位の互換など)
- その他(下欄にお書きください)

- 特にない

[次へ](#)

[クリア](#)

[このページのトップへ](#)

## (4)生涯学習全般で県などに期待することについて

---

Q9

生涯学習全般について、県や市町、民間事業者に期待することがありましたらご自由にお書きください。

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

## 広報広聴

広聴活動

更新日: 2007年7月25日

### 参考資料1: 学習活動について

このアンケート調査における「学習活動」については、人生を楽しく豊かにするために、自ら進んで行う学習やスポーツなどのさまざまな活動(下記の具体例をご参照ください)と考えて、各設問にお答えください。

#### < 学習内容の例 >

- 音楽や絵画など趣味や楽しみのための学習
- 語学や歴史文化など教養を高めるための学習
- 健康や楽しみのために行うスポーツ
- 資格取得のための学習
- 職業上、必要な知識や技能を得るための学習

#### < 学習方法の例 >

- 教室や講座に参加する
- 通信講座を受講する
- テレビやラジオの学習講座を視聴する
- 個人的に先生(師匠)につく
- 書籍で独学する



学習活動1



学習活動2



学習活動3

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

**質問: このページの情報は役に立ちましたか?**

- 1: 役に立った  2: ふつう  3: 役に立たなかった

**質問: このページの情報は見つけやすかったですか?**

- 1: 見つけやすかった  2: ふつう  3: 見つけにくかった

送信

このページの掲載内容に関するお問い合わせ

- 部署名: 県民政策部知事室広聴課
- 電話: 078-362-3021
- FAX: 078-362-4291
- Eメール: kocho@pref.hyogo.jp

[このページのトップへ](#)

## 広報広聴

広聴活動

更新日:2007年7月25日

### 参考資料2(兵庫県の高齢者大学)

(兵庫県では、高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進するため、県内7地域で高齢者大学を開設し、高齢者の学習活動やクラブ活動、地域活動などを支援しています。)

名称	所在地	学科・コース(4年制)	学生数
いなみ野学園	加古川市	園芸、文化、健康福祉、陶芸学科	2284名
阪神シニアカレッジ	宝塚市	園芸、健康福祉、国際理解学科	661名
但馬文教府みてやま学園	豊岡市	健康福祉、地域文化、環境創造コース	330名
西播磨高齢者文化大学	たつの市	健康福祉、地域文化、環境創造コース	322名
淡路すこやか大学いざなぎ学園	淡路市	健康福祉、地域文化、環境創造コース	255名
うれしの学園生涯大学	加東市	コース制を設けていない	363名
丹波OB大学	丹波市	健康福祉、地域文化、環境創造コース	275名

### 施設の外観



うれしの学園生涯大学の校舎(加東市)



丹波OB大学の校舎(丹波市)

### 学習の様子



ゼミ形式の学習(いなみ野学園)



小学生との交流による田植え(うれしの学園)

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

**質問:このページの情報は役に立ちましたか?**

- 1:役に立った  2:ふつう  3:役に立たなかった

**質問:このページの情報は見つけやすかったですか?**

- 1:見つけやすかった  2:ふつう  3:見つけにくかった

送信



- 部署名: 県民政策部知事室広聴課
- 電話: 078-362-3021
- FAX: 078-362-4291
- Eメール: kocho@pref.hyogo.jp

[このページのトップへ](#)

---

| [リンク集](#) | [県ホームページについて](#) | 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 電話078-341-7711(代表) 地図は[こちらへ](#)

---

## 広報広聴

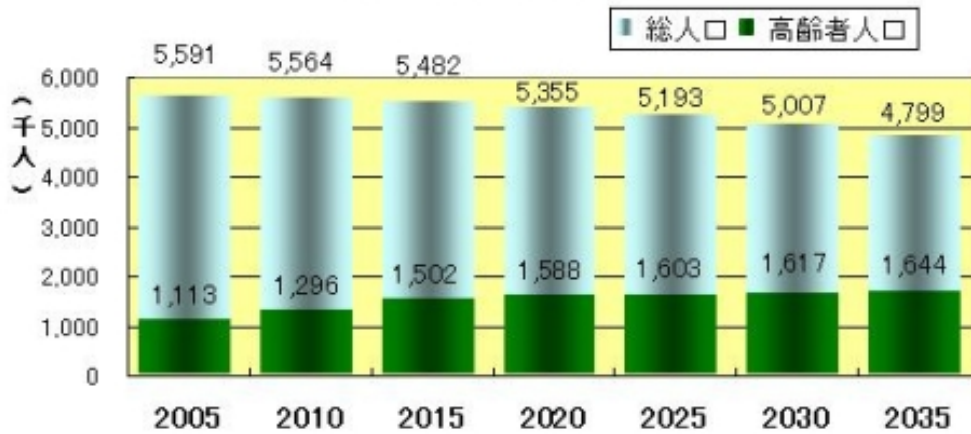
広聴活動

更新日: 2007年7月25日

### 参考資料3: 兵庫県の高齢者データ

【兵庫県の総人口は今後減少する一方、高齢者人口は増加の一途をたどります。】

高齢者人口の推移(兵庫県)



高齢者人口の推移

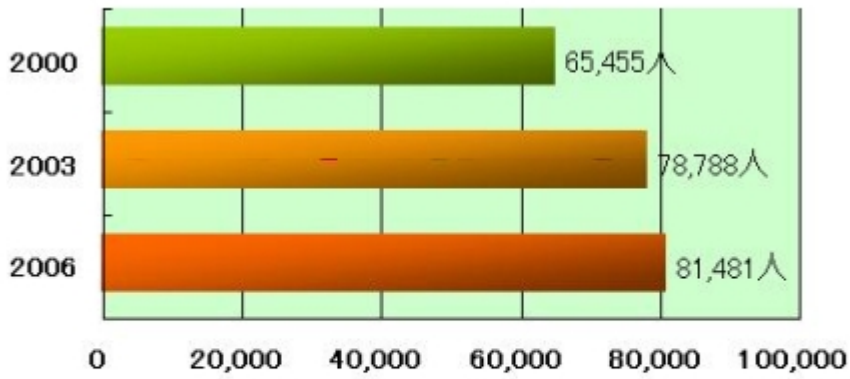
【高齢化率は2015年には25%を超え、高齢者の割合は4人に1人になると予想されます。】



高齢化率の推移

【現在約8万人の高齢者が、県や市町が運営する高齢者大学で学習しています。】

高齢者大学の受講者数(兵庫県)



#### 高齢者大学の受講者数

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

**質問:このページの情報は役に立ちましたか?**

1:役に立った  2:ふつう  3:役に立たなかった

**質問:このページの情報は見つけやすかったですか?**

1:見つけやすかった  2:ふつう  3:見つけにくかった

送信

このページの掲載内容に関するお問い合わせ

- 部署名:県民政策部知事室広聴課
- 電話:078-362-3021
- FAX:078-362-4291
- Eメール:kocho@pref.hyogo.jp

[このページのトップへ](#)